

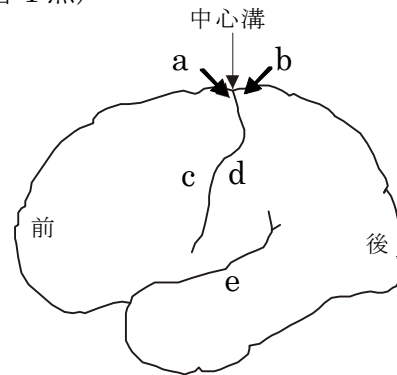
番号 _____ 名前 _____

1枚目の解答は、マークシートに書き入れなさい。解答は、M51-M74（マークシート上問題番号）に行うこと。

I. 右図は、人の脳の機能局在を示した図である。それぞれ以下の領域は、図中のどこに相当するか。最も近い場所の記号を選びなさい。また左脳は、左右どちら側（または両側）の受容器から入力を受けるか、下の選択肢から適切なものを選びなさい。運動野に関しては、左右どちら側（または両側）の運動ニューロンに投射するか、を答えなさい。（各1点）

（解答欄の一覧）

	場所	受容器入力
体性感覚野下肢領域	M51	M52
運動野上肢領域	M53	M54
一次聴覚野	M55	M56



選択肢：（受容器入力） a. 左側、b. 右側、c. 両側

II. 伝導路の伝導障害により、様々な感覚麻痺や運動麻痺が生じる。以下の場合には、身体各部分にどのような麻痺が生じるか、麻痺の種類は下の選択肢から選び書き入れなさい。複数の種類の麻痺が起こる場合は、すべて選ぶこと。麻痺がまったく生じない場合は、「e. 麻痺なし」を選択して下さい。（各1点）

- 第8頸髄で脊髄中心部に損傷が起こり、左右間を交叉する軸索が変性脱落した。
- 左側の第9胸髄が広く損傷を受けた。
- 延髄右外側の血行障害で、延髄部の右側脊髄視床路と右側三叉神経脊髄路全体が傷害された。

（解答欄の一覧）

身体部位	1)の解答	2)の解答
損傷髄節支配部位（左側）	M57	M61
損傷髄節支配部位（右側）	M58	M62
損傷より下の髄節支配部位（左側）	M59	M63
損傷より下の髄節支配部位（右側）	M60	M64

身体部位	3)の解答
顔面（左側）	M65
顔面（右側）	M66
脊髄神経支配部位（左側）	M67
脊髄神経支配部位（右側）	M68

選択肢：（麻痺の種類） a. 識別的皮膚感覚、b. 粗大な皮膚感覚と温痛覚、c. 深部感覚、d. 運動、e. 麻痺なし

III. 脊髄に関する以下の文章の下線部について、最も適切な選択肢を選びなさい。（各1点）

（解答欄）

M69) 脊髄からは通常、(a. 28、b. 29、c. 30、d. 31、e. 32) 対の脊髄神経が出る。

M70) 脊髄運動ニューロンが存在するのは、灰白質の (a. 後角、b. 前角、c. 中間質、d. 後索、e. 前索) と呼ばれるところである。

M71) 脊髄に入る感覚神経は、(a. 後根、b. 前根) を通る。

M72) 横隔膜の運動ニューロンは、(a. 頸髄、b. 胸髄、c. 腰髄、d. 仙髄、e. 尾髄) に存在する。

IV. 次の記述に該当する検査はどれか。下の共通の選択肢から、一つ選びなさい。（各1点）

（解答欄）

M73) 新生児の聴力検査に用いられる。検査するのは、外有毛細胞の働きである。

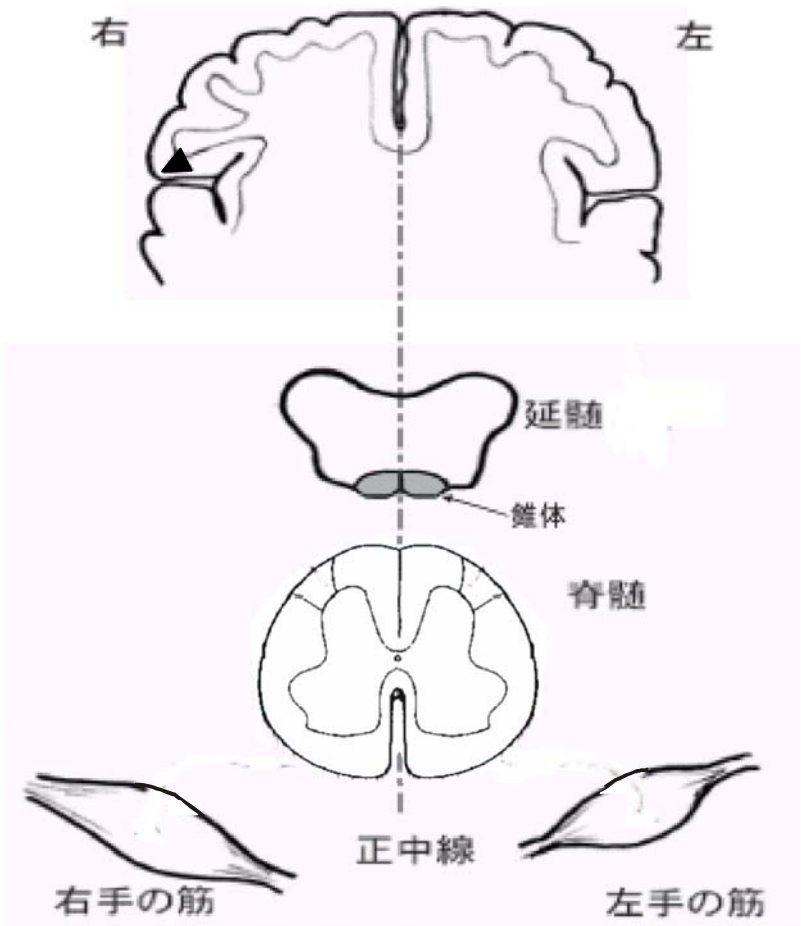
M74) 脳死判定に用いられる。聴覚伝導路の神経核に、活動が伝わる様子を観察できる。

選択肢： a. 聴性脳幹反応、b. オージオグラム、c. 耳音響放射、d. マイクロホン電位、e. 選択肢に適切なものはない

番号 _____ 名前 _____

2枚目の解答は、本紙解答欄に書き入れなさい。

V. 運動野の手指領域の錐体路細胞（右脳の細胞体が、右図中▲で描かれている）は、脊髓の手指筋運動ニューロンに運動指令を伝えることが知られている。右脳から運動ニューロンへの経路のうち最短の（シナプスの数が最も少ない）経路を、図に書き入れなさい。右側の錐体路細胞からの下行路が同側に存在するか対側か、シナプスは何個存在するか、脊髓ではどの部分を下行するかがわかるようにすること。また、運動ニューロンも脊髓断面図内には書き入れること。なお、錐体路細胞からの下行路は、橋から延髄では図で錐体とかかれた灰色の部位を通る。（4点）



VI. 右図は、聴覚系の神経伝導路を示したものです。以下の部位の名称を答えなさい。（各1点）

- A 第()脳神経 (数字を入れること)
- B ()
- C ()
- D ()
- E ()

